

普代村の地域創生を語る意見交換会の意見内容

①雇用・労働分野（平成27年8月7日（金） 村内企業代表者4名出席）

- ・支払もあるので、コンビニがあった方が便利。
- ・振込だけでも仕事が終わってから出来るように、金融機関、ATMなどもっと遅くまで。
- ・コンビニが出来ると商店が廃れていく。
- ・夜になると街が暗い。
- ・仕事だけではなく、ジムなど楽しむことが出来る場所が必要。
- ・新規事業所が出来ると、そちらに人をとられてしまう。
- ・募集しても人がいないような状況なのに、そちらに人が流れていくのではないかな。
- ・事業所がもらえる補助も良いが個人が直接もらえるようなものがあるのも良いのではないかな。
- ・公共事業が主なので、仕事をたくさん出してもらえれば、それなりの雇用はうまれる。
- ・若い人達が残るような、魅力ある村づくりが必要。
- ・沿岸はどこでも人口減少が問題となっている。
- ・他市町村と比べて売りになるようなところが必要。景色が良いだけではダメ。
- ・漁師の高齢化が進んでいる。漁師が減ると、その分揚がる魚も減ってくる。そうすると、水産加工会社も衰退していく。そうならないように、一緒になって一つの会社としてやっていくことが必要になる。
- ・漁師さんの中では2,000万円以上稼ぐ人達もいる。そういう人達が弟子をとって育ててくれれば良いのだが。
- ・漁師さんは子供たちにも自分の仕事を進めない。
- ・漁師を増やして、結婚して、そうすれば、その奥さんたちも村内などで仕事をする。それによって雇用も確保できるのではないかな。
- ・ブランド化が必要であるが、他に先をこされている。PRが下手である。
- ・道の駅計画はまだあるのか？
- ・規模拡大しても、雇用する人がいなくて施設を使わずにいるというところも他にはある。
- ・会社に託児所を作り、それに対して村が補助するというのはどうか？
- ・子供がいるので夜勤ができないという人もいる。託児所を作ることで、それが解消されるのではないかな。
- ・ただ、託児所を作ってもそこで働く保育士を見つけることが出来るか不安。
- ・こども園で、そういう体制づくりが出来ないかな。
- ・企業がそれぞれ出し合って、そういう場所を作ってもいいのではないかな。
- ・住居の確保が必要。
- ・空き屋を役場で権利をもらい、それを貸し出すことはできないかな。
- ・若しくは、仲介して権利、家賃は所有者に。
- ・住むところの整備が必要。
- ・モニターツアーなどで民泊してもらい、外の人達の目を見て、村に何が足りないかを出してもらうのも良いのでは。
- ・村内の水産加工会社は一次加工とイクラ、ウニまでしかやっていない。次の加工までやりたいと考えている。
- ・ただ、整備に莫大な費用がかかるし、場所も必要。水産加工会社がまとまる必要がある。
- ・人が少ない状況で、次に投資することは厳しい。投資してもそこで働く人がいない。
- ・働く人たちの意識改革が必要。すぐに辞めるということが無いように。
- ・他とは違う取り組みをしていく必要がある。

②結婚・子育て分野（平成27年7月24日（金）、8月4日（火） 乳児健診対象保護者延べ15名）

- ・子育て支援センターの存在を知らない。
- ・子育て支援センターを利用したことがない。
- ・もっと行事をして利用者が多くなるといい。（子育て支援センターについて）
- ・サークルがあれば参加してみたい。
- ・悩み事があっても保健センターや子育て支援センターは利用したことがない。
- ・有給休暇はあるが、時期的に休めない時もある。
- ・夫の職場は有給休暇がない。
- ・有給休暇はあるが、ノルマがあるので休めないことがある。
- ・進学を機に村外へ引っ越し人もいると思う。
- ・公園がほしい。
- ・店や病院が遠い。
- ・子ども向けのイベントがあると良い。
- ・教室（音楽、体操など）があると良い。（子どもが集まれる場所）
- ・支援センターの利用者がもっと増えて、いろいろなイベントが開催できると良い。
- ・休日の医療機関受診が困る。
- ・村外保育になると送迎が出来なくなる可能性もあるので、希望者は全員入所できることも園にしてほしい。
- ・現在の子育て支援対策については、ありがたい。
- ・里帰り出産（県外等）の際の医療費について、久慈管内で受けるのと同様の待遇にしてほしい。県外になった時の対応が他市町村と比べてとても不便に感じる。
- ・公園もしくは遊べるスペースがほしい。
- ・こども園は無料だが、こども園に預けられない場合もあるので久慈などに預けた場合も無料にしてほしい。
- ・中学校の部活の選択肢が少なすぎる。子供が好きなものをやらせたいので、そのことを考えると村外の中学というのも十分可能性があるが費用がかかる。部活動についての検討もしくは村外教育への支援を希望。
- ・職がないうえに若い人があつまりにくい。
- ・周りの友達に聞いても戻ってきたいという人はいない。
- ・休日の医療場所。

③多世代交流等分野（平成27年8月11日（火） デイサービス利用者6名）

- Q 現在の生活環境や日常生活において困っていることや不安に思っていることはありますか？また、生活環境や日常生活において望むことはありますか？
- ・特に困ったことはない。デイサービスを利用できない日はヘルパーさんに来てもらっているし、家族に大事にされている。
 - ・娘がいるけど時代が変わっているから…でもここにいればみんながいるから安心。
 - ・老人との交流会を開いてくれて大変ありがたい。年齢に関係なく若返った気がする。お互いに楽しみがあり、家にいるとなかなかできない。奥さんとにらめっこばかりをしている。いずれはできなくなる日がくる。お楽しみ交流会人との交流の場が欲しい。
 - ・1人暮らし。デイサービスに行くことが楽しみでデイサービスに来るとみんながいるから楽しい。2本の杖をたよりに1人でできることは頑張る。自分のことができることがなにより。
 - ・弟が「うねとり荘」に入所している。妻も病に倒れ入院している。自分は今行くところがなく困っているところをデイサービスに通えるように手配してくれた。本当に感謝している。目が見えなくなってきて書類がきてもみえない。デイサービスの職員の皆さんに本当に感謝しています。
 - ・ケアホーム入所の女性は、ここにいれば人がいるので話もできるし、なんでもあるので何も困っていません。
- Q デイサービスについて？（利用したきっかけ、利用期間、デイサービスを利用していいこと等）
- ・デイサービスができたのが平成5年。デイサービスが始まってから22年。22年間通い続けている方が3名もいらっしやった。
 - ・デイサービスにくると子供たちのように忘れた算数をしたり、忘れていたことを考えたり、いろいろなことができる。100歳になっても勉強。
 - ・デイサービスにきてみんなと会っておしゃべりしたり、笑ったり、時には怒ったりして楽しい。デイサービスに行くことが楽しみ。職員の皆さんもみんな優しいので感謝している。
- Q 生きがいはありますか？
- ・デイサービスにくること。
 - ・家に閉じこもっているよりはデイサービスにくること。
 - ・歩行がまだしっかりしているうちは、余生をまだまだこれからお楽しみ。
 - ・孫たちが6人いる。
 - ・自分のことは自分でできること。
- Q 大きな病気などになり医療や介護が必要になった場合どこで過ごしたいですか？（病院、施設、在宅…等）
- ・誰も面倒をみてくれる人がいない。または家族がいても家族に迷惑をかけたくないので、「うねとり荘」のような施設で生涯を終えていきたい。
 - ・お家にいるのが一番。（お家を希望される方たちは在宅での医療、看護を希望されていました。ご家族と一緒に生活をされていられる方は在宅での生活を希望されていました。）
 - ・デイサービスの利用者は女性の方が圧倒的に多く、男性の利用が少ない。男性にはやはり抵抗がある？来てみれば楽しいけれど来てみるまでがなかなか

④移住・定住分野（平成27年8月6日 村内移住者3名）

- 普代の生活にほしいもの
 - ・コミュニケーションが少ない。
 - ・子どもを連れて集まれる場所があるといい。
 - ・行けば話相手がいる場所。（一人でもいける、ついでに話すと気楽）
 - ・スポーツ以外に文化系を教える場所。（書道とか）
 - ・公園をもう1箇所くらい。
- 外から見た普代村
 - ・息がつまる。
 - ・人を覚えなければならぬ人は大変。
 - ・出来合いの物を売っているところがあると便利。
 - ・他の家から食材をもらったりすることが多々あるが食べきれず余ることも、産直に出したらいいのではと思う。
 - ・普代の店は価格が高い。外から来てるからこそ外で買う。
- 普代に来て思ったこと
 - ・子育て支援室が気軽でない。
 - ・外の人を受け入れづらい。（世間一般の普通と違うことを続けてきて、それを当たり前だと思っているから閉鎖的）
 - ・人を覚えるのに苦労。
- 普代に来るときの不安
 - ・人を覚えること、コミュニケーションの不安。
- その他
 - ・普代はアピール不足、アピール下手。
 - ・親子で泊まれる、遊べる所がほしい（キャンプとか）、海や今ある施設を活かす。